

稼げる！プロコン育成塾 第2回講義

東京都中小企業診断士協会 中央支部認定マスターコース

開催日時 2012年8月4日(土) 10:00~17:00
開催場所 中央支部事務所
講義内容 『「書く」スキルを習得する「ビジネス小論文の書き方」』
『コンサルティングに求められる論理的思考力』

担当講師 鴨志田栄子 塾長
林直樹 先生

★当日の流れ

10:00~ ビジネス小論文作成の基本
11:00~ 小論文執筆上の注意点
12:00~ 昼食、休憩
13:00~ ビジネス文書作成演習・個人ワーク・グループ討議・全体発表
14:00~ ビジネス小論文添削演習・全体発表
14:40~ 因果関係分析法演習

★講義の風景



写真1 ビジネス小論文についての鴨志田塾長の講義



写真2 文書作成に取り組む12期生たち



写真3 1班のグループディスカッションの様相



写真4 2班のグループディスカッションの様相



写真 5 3班のグループディスカッションの様相



写真 6 実務診断に関する田中先生からのご説明

★第2回講義を終えて

8月4日土曜日、稼げる！プロコン育成塾第二回講義が開催されました。1回目の講義や11期生から引き継いだプログリレーをつなぐことなどで、塾生同士のコミュニケーションも十分に図れているようで、講義開始前の会場は和気あいあいとしています。明るい雰囲気の中、第2回の講義がスタートしました。今回は、「診る」、「書く」、「話す」の3つのスキルの中の「書く」を習得する『ビジネス小論文の書き方』、そして、コンサルタントに必要な『論理的思考力』を身につけるための講義です。

第1部は、『ビジネス小論文の書き方』、この講義は鴨志田塾長がご担当されました。まずは、ビジネス小論文の定義と条件についてのご説明がありました。これにより塾生は、ビジネス小論文が一般の文章や小論文とどのように違うのかということ学びました。続いて、ビジネス小論文作成のプロセスについて。ここでは、①テーマの明確化②テーマに関する情報収集③論文の構成④文章化⑤推敲という5段階のステップそれぞれについての詳細なご説明がありました。そして、ビジネス小論文作成にあたっての留意点、執筆上の注意点(執筆上のルール)のご説明があり、これらを踏まえて、午後からは文書作成の演習が行われます。

昼食後に行われた演習のお題は、「動機づけ」について。塾生たちは「動機づけ」についてのビジネス文書をそれぞれ200文字以内で作成し、お互いが作成したものをグループ内で共有しました。さらに各グループで、代表の文書を1つ選び、それを選んだ理由と共に全体で発表します。文書を選ぶ基準は午前中の講義の中で学んでいますので、それぞれビジネス文書にふさわしいものが選ばれていたと思います。

文書作成の演習に続いては、小論文の添削演習です。今度は、他人が作成したビジネス小論文を客観的な視点で添削し、修正すべきだと思う点を各自が発表しました。添削基準についても、午前中の講義内容を踏まえた内容であったため、皆さん安定した添削をされていました。

『ビジネス小論文の書き方』については以上で、第2部の『コンサルティングに求められる論理的思考力』の講義に移ります。この講義は「因果関係分析法」の技法を使った演習形式で行われ、講義は林先生がご担当されました。塾生達は、1チーム3～4人のチームに分かれて、次のプロセスで演習を進めていきます。①与えられたテーマについて原因と思われるものを考えそれをカードに書く。②各人が書いたカードを、「真因」「主因」「近因」「遠因」の4つに分類する。③類似したカードの一本化や分類の再検討を行う。④因果関係の強いものは印で表すなど、カード間の関係を明らかにする。⑤出来上がった因果関係図をもとに、考えられる打ち手を列挙する。⑥打ち手の中から特に重要と考えられるものを3つまで選出する。

模造紙を使用しながら、各チームで活発な議論が行われました。因果関係図の作成には各チーム手こずっていた様子ですが、それが出来上がった後は、スムーズに打ち手を出せていました。因果関係を図式化することで、解決すべき問題点を把握することができ、適切な解決策を導き出せたのではないかと思います。

第2回講義では、「書く」スキルと論理的思考力について学びました。今回の講義も盛りだくさんの内容でしたので、皆さんお疲れなのではないかと思いましたが、その後の懇親会には大半の方が参加され、活発に交流を計られていました。次回からは、いよいよ「診る」スキルを磨く実務診断が始まります。企業様のお役に立てるよう、皆さんで力を合わせて頑張っていきましょう！